

**むこ小**

学校便り

H23年度—NO 10

節分と豆まき

インターネット（ウィキペディア等）で調べると、節分（せつぶん）とは、各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のこと。また、「季節を分ける」ことも意味していると書かれていました。では、どうして節分に豆まきを行ったり、豆を自分の年齢（数え年）の数だけ食べたりするのでしょうか。



豆は「魔滅」に通じ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあり、また、自分の年の数の1つ多く（数え年分）食べると、体が丈夫になり、風邪をひかないというならわしがあったりするようです。

我が家でも毎年の恒例として、「鬼は外、福は内」のかけ声とともに、豆まきを楽しんでいます。（子どもが幼い頃には、私が鬼の面をかぶって鬼役を演じたものですが、元来は家長たる父親や年男（年女）が豆をまいて、鬼を追い払うものであったようです。）イワシの頭とヒイラギを戸口にさしたりもしますが、これらも焼いたイワシの頭の悪臭と、ヒイラギのトゲで、鬼を追い払うという風習からきているようです。

子どもたちや家族の健康等を願うこのような季節の行事は、日本人としての文化的なならわしとして残ってほしいと願っています。

研修会から

先日、市内で研修会が開催され、教育ジャーナリストの品川裕香さんのお話を聞くことができました。演題は「すべての子どもたちに 今こそ必要な 教育とは何か」でした。講演のなかで、すべての子どもたちが自立して社会参加するために必要な力として、①基礎体力や基礎学力などのベーシックスキル ②バランスの良い自己理解 ③セルフモニタリングとセルフコントロール ④自己決定力 ⑤社会のルールとマナー など5つの力を最低限身につけるべきものとし、これらの力を学校や家庭が適切に指導するための注意点等のお話でした。家庭や地域に関しては、子どもたちへの働きかけとして、子どもが自分の家庭や地域に愛着の持てる関わり作りの機会や場を設け、そのような機会や場に子どもを積極的に参加させること、そして、子どもたちの面倒見のよい大人がいることなどが、子どもたちに健全な社会参加を促すプラスに働く要因として述べておられました。学校でも地域の方々にご協力をいただきながら学習や行事に取り組んでいます。ご家庭でも地域活動等に積極的な参加をお願いします。（校長）

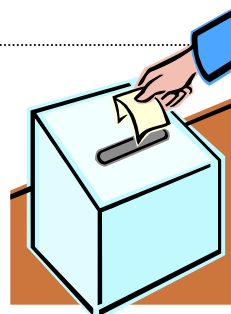
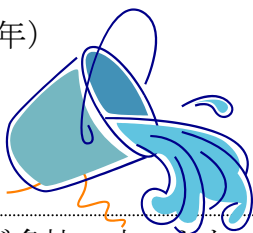
2月の行事予定

- 3日(金) 地区バスケット大会(6年)
- 6日(月) 朝会
委員会活動
生活点検週間(～10日)
諸費振替日
- 7日(火) 全校一斉読み聞かせ(～9日)
- 9日(木) 児童会役員選挙(3・4・5年)
- 11日(土) 建国記念の日
- 13日(月) 児童集会(体育)
クラブ活動(見学)
- 16日(木) 入学説明会(14:20下校)
- 20日(月) 創立記念日
諸費振替日
- 23日(木) 参観・懇談(高学年)
- 24日(金) 参観・懇談(低学年)
- 27日(月) 朝会

児童会役員選挙

9日(木)5校時

2月2日から選挙活動が始まり、投票は、9日(木)5校時に3・4・5年生が体育館に集まって行います。各クラスの立候補者の演説を聞き、来年度の児童会役員を選びます。高学年としての自覚を持ち、学校生活を良くしていこうという気持ちでしっかり考えてほしいと思います。



3月の予定

- 16日 給食終了
- 19日 卒業証書授与式
- 25日 修了式



ご多忙の中、もちつき会や防災訓練、書き初め展やフリー参観など、ご参加ありがとうございました。

もちつき会では臼や杵など、普段使うことのないものに触れ、子どもたちは貴重な体験をすることができました。

防災訓練では、バケツリレーや救助・救出応急手当など、もしもの時の対応を学ぶことは、安全・安心な学校生活を送る上でもとても大切なことだと思います。

